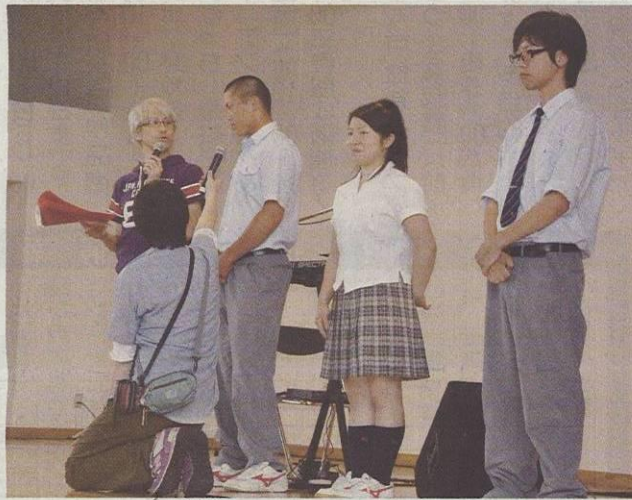


ボランティア活動などについて語り合う、やまだひさしさん(左)と生徒たち10日、八戸市の光星学院高校



光星と工大一高でFM番組を収録被災地にエール18日放送予定被災地に元気を届けたい。全国放送されているTOKYO FMの番組「やまだひさ

しのラジアンリミテッドF」の収録が10日、八戸市の光星学院高校と八戸工業大学第一高校で行われた。パーソナリティーのやまだひさしとシンガー・ソングライターの奥華子さんが軽快なトークと心に

響く歌で会場を盛り上げた。全国の学校を巡る「ポッキー 放課後のミュージックルーム」の一環。震災後、被災地のラジオ局の希望を受け、被災地への訪問を開始した。光星高校での収録は体育館で行われ、全校生徒約980人が参加。チャリディング部長の佐々木七海さん(3年)は、市内の避難所で演技を披露したことを紹介。やまださんは「震災でお互いさまという気

持ちを学んだね」と優しく声を掛けた。奥さんはキーボードを弾きながら、透明感のある歌声を披露した。収録後、やまださんは取材に対し「出身地の東北に簡単に帰れない人も多い。東北の様子をラジオで伝えたい」と抱負。奥さんは「未来を背負う若い人たちに元気を出してほしい」とエールを送った。収録の様子は18日午前1時から、エフエム青森などで放送される予定。